

- 問1 縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた
 2. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった
 3. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した
 4. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、竪穴住居での定住が進んだ
- 問2 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 土偶
 2. 銅鐸
 3. 石包丁
 4. 埴輪
- 問3 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまったことを前提とした観賞用。
 2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。
 3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。
 4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。
- 問4 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買取引する生活が一般的となった。
 2. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。
 3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。
 4. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。
- 問5 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。
 2. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。
 3. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。
 4. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。
- 問6 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった
 2. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった
 3. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった
 4. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した
- 問7 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 鉄器
 2. 青銅器
 3. 磨製石器
 4. 打製石器
- 問8 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 食料を保存したり、煮炊きを行うための日常的な容器として作られた
 2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
 3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた
 4. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
- 問9 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 大規模な稲作を行うための、種もみを長期間保管するため
 2. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため
 3. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため
 4. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため
- 問10 約1万年前に地球の温暖化が進んで海面が上昇し、日本列島が形成された時期の生活の様子として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった稲作が本格的に広まり、収穫した米を保存するために高床倉庫が作られるようになった。
 2. 強力な支配者が現れ、自らの権威を示すために巨大な古墳を築き、その周囲に埴輪を並べるようになった。
 3. 地面を掘り下げた竪穴住居に住み、弓矢を用いた狩猟や木の実の採集、漁を中心とした生活を営んでいた。
 4. 各地で大規模な灌漑施設が整えられ、太陽暦を用いて農作業の時期を管理する生活が始まった。
- 問11 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である
 2. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
 3. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された
 4. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である
- 問12 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットウシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大和民族
 2. 琉球民族
 3. 渡来人
 4. アイヌ民族
- 問13 約1万以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた
 2. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
 3. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した
 4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた